



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 三井金属エンジニアリング株式会社  
 コード番号 1737 URL <http://www.mesco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 住 伸一  
 (氏名) 木原 基廣

TEL 03-5610-7833

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,905	△21.7	△27	—	△11	—	△23	—
24年3月期第1四半期	4,989	61.2	△112	—	△95	—	△58	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 96百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1.87	—
24年3月期第1四半期	△4.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	16,122	9,304	57.7
24年3月期	17,439	9,527	54.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 9,304百万円 24年3月期 9,527百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	25.00	25.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,400	△28.2	△260	—	△230	—	△150	—	△11.74
通期	23,400	△6.8	460	△60.2	510	△58.2	290	△56.9	22.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	12,780,000 株	24年3月期	12,780,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	3,260 株	24年3月期	3,260 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	12,776,740 株	24年3月期1Q	12,776,740 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年5月14日に公表致しました連結業績予想から、第2四半期連結累計期間、通期とも修正しておりません。

2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく変わる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7
4. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州金融不安や円高による影響などによる懸念を残しつつも、国内需要が堅調に推移し、景気は緩やかな回復基調となりました。

建設業界におきましても、震災復興需要関連など公共工事は増加傾向にあり、民間設備投資も緩やかな持ち直しの傾向が見られました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間における当企業集団の売上高は3,905百万円（前年同四半期比21.7%減）となりました。

営業損失は、工事原価、販売費及び一般管理費の削減などから、27百万円（前年同四半期 営業損失 112百万円）となり、経常損失は11百万円（前年同四半期 経常損失 95百万円）となりました。

また、四半期純損益につきましては、前年同四半期から34百万円損失減少の、四半期純損失23百万円（前年同四半期純損失58百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、当第1四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ・エンジニアリング事業

国内の非鉄金属関連工事の受注高が減少したことなどにより、売上高は2,869百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

また、経常利益は75百万円（前年同期比43.1%減）となりました。

#### ・パイプ・素材事業

パイプ部門におけるトンネル用消火配管等の大型案件の進行基準による完成増などにより、売上高は1,065百万円（前年同四半期比43.9%増）となりました。

また、経常利益は51百万円（前年同四半期 経常損失79百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して、受取手形・完成工事未収入金等が2,029百万円減少したことなどにより、1,317百万円減少の16,122百万円となりました。

負債については、支払手形・工事未払金等が880百万円減少したことなどにより、1,094百万円減少の6,817百万円となり、また、純資産は222百万円減少の9,304百万円となりました。

この結果、自己資本比率は57.7%となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末において、借入金等の有利子負債はありません。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,537,268	1,738,716
受取手形・完成工事未収入金等	6,906,065	4,876,802
未成工事支出金	799,523	1,227,695
商品及び製品	179,309	146,093
材料貯蔵品	246,990	306,250
預け金	4,938,743	5,088,188
繰延税金資産	256,640	263,663
その他	248,356	145,922
貸倒引当金	△1,991	△1,397
流動資産合計	15,110,905	13,791,934
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	473,590	471,849
機械・運搬具	1,624,906	1,623,291
工具器具・備品	871,928	877,717
土地	1,099,000	1,099,000
リース資産	5,443	5,443
建設仮勘定	137,798	173,579
減価償却累計額	△2,608,508	△2,627,882
有形固定資産合計	1,604,159	1,622,999
無形固定資産		
ソフトウェア	83,003	76,687
その他	8,222	8,203
無形固定資産合計	91,226	84,891
投資その他の資産		
投資有価証券	53,462	58,997
繰延税金資産	393,155	383,633
その他	200,746	194,110
貸倒引当金	△14,265	△14,265
投資その他の資産合計	633,099	622,475
固定資産合計	2,328,484	2,330,367
資産合計	17,439,390	16,122,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,912,791	4,032,082
未払法人税等	361,815	7,435
未成工事受入金	328,528	649,925
賞与引当金	342,600	170,600
役員賞与引当金	26,000	—
完成工事補償引当金	110,100	105,800
工事損失引当金	82,600	69,400
その他	362,936	465,843
流動負債合計	6,527,371	5,501,087
固定負債		
退職給付引当金	1,268,466	1,237,751
役員退職慰労引当金	92,620	55,310
繰延税金負債	260	284
その他	23,358	23,072
固定負債合計	1,384,704	1,316,418
負債合計	7,912,076	6,817,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,085,350	1,085,350
資本剰余金	684,400	684,400
利益剰余金	8,198,621	7,855,369
自己株式	△2,083	△2,083
株主資本合計	9,966,288	9,623,035
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	4,105	1,458
為替換算調整勘定	△443,080	△319,698
その他の包括利益累計額合計	△438,974	△318,240
純資産合計	9,527,313	9,304,795
負債純資産合計	17,439,390	16,122,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高		
完成工事高	4,470,329	3,210,558
兼業事業売上高	519,052	694,800
売上高合計	4,989,382	3,905,358
売上原価		
完成工事原価	4,066,173	2,819,465
兼業事業売上原価	431,781	554,100
売上原価合計	4,497,954	3,373,566
売上総利益		
完成工事総利益	404,156	391,092
兼業事業総利益	87,271	140,699
売上総利益合計	491,427	531,792
販売費及び一般管理費	603,998	559,087
営業損失(△)	△112,571	△27,295
営業外収益		
受取利息	16,498	18,157
持分法による投資利益	424	970
雑収入	2,878	4,064
営業外収益合計	19,801	23,192
営業外費用		
支払利息	48	40
手形売却損	301	—
為替差損	338	6,865
貸貸収入原価	1,908	259
雑支出	146	377
営業外費用合計	2,743	7,542
経常損失(△)	△95,512	△11,645
特別利益		
固定資産売却益	—	650
特別利益合計	—	650
特別損失		
固定資産除却損	55	269
貸倒引当金繰入額	152	—
会員権評価損	—	1,550
特別損失合計	208	1,819
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,721	△12,814
法人税等	△37,470	11,019
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,250	△23,834
四半期純損失(△)	△58,250	△23,834

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△58,250	△23,834
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	4,567	△2,647
為替換算調整勘定	28,238	118,817
持分法適用会社に対する持分相当額	1,304	4,563
その他の包括利益合計	34,110	120,734
四半期包括利益	△24,140	96,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,140	96,900

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,305,455	683,926	4,989,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,997	56,327	63,324
計	4,312,452	740,254	5,052,706
セグメント利益又は損失(△)	132,215	△79,888	52,327

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,327
全社費用(注)	△147,840
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△95,512

(注) 全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,868,603	1,036,755	3,905,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	614	28,298	28,912
計	2,869,217	1,065,053	3,934,271
セグメント利益	75,234	51,924	127,158

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	127,158
全社費用(注)	△138,803
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△11,645

(注) 全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、エンジニアリング事業部の素材営業部とパイプ事業部を統合する事により、販売網の共有等を図りシナジー効果による営業力強化、及び、人員及び業務の効率化を図ることを目的とした会社組織の変更を行いましたので、報告セグメントを従来の「エンジニアリング事業」及び「パイプ事業」から、「エンジニアリング事業」及び「パイプ・素材事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

#### 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

##### ①生産実績

当企業集団では生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

##### ②受注実績

当第1四半期連結会計期間より、「(5)セグメント情報等」に記載のとおり、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
エンジニアリング事業	2,070,198	38.0	5,779,268	63.3
パイプ・素材事業	1,316,816	183.6	2,582,101	210.2
セグメント間の内部売上高又は振替高	△13,417	—	△167,357	—
合計	3,373,597	54.7	8,194,012	81.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### ③売上実績

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

セグメントの名称	売上高（千円）	前年同四半期比（%）
エンジニアリング事業	2,869,217	66.5
パイプ・素材事業	1,065,053	143.9
セグメント間の内部売上高又は振替高	△28,912	—
合計	3,905,358	78.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。